

津市一般廃棄物処理基本計画（案）に対する意見募集の結果について

No.	頁	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方
1	P50	第3章 ごみ処理基本計画 第2節 ごみ処理基本計画 4 目標値	<p>「1人1日当たりのごみ総排出量」を取り上げて現状及び目標を考察してみます。P37のデータを見ると、類似35市の平均値が881g/人・日（以下、単位を省略）に対して、津市は1,048と大きく上回っています。</p> <p>一方、県内の他市の状況をそれぞれの計画により見てみますと、四日市市のH25実績は630.8、松阪市のH27実績は929です。四日市市は全国平均を大幅に下回っていますが、なお削減の余地があるとして今後10年間で5%削減する目標を立てています。松阪市は上記35市の平均値より若干高い現状ですが、10年後には約11%削減して822、16年後には約17%削減して774という意欲的な目標を設定しています。それらに対して、津市は10年後に5%強削減して950を目指す目標を今回定めようとしており、現状だけでなく目標も県内近隣市と比べてかなり見劣りします。</p> <p>なお、三重県の計画では、7年間（H25～H32）で5%削減し、H32に936という目標を設定しているので、津市の目標はそれより下回ることとなります。</p> <p>このようなデータを踏まえて考えると、県都・津市の当該目標は不十分であると思われるかもしれませんが、それでよいのでしょうか。</p>	<p>現行のままとします。</p> <p>(理由) 本市では、今後10年間のごみ処理システムについて、ごみ袋の有料化など市民に受益者負担をかけることなく、従来の方式を引き継ぎ行うとする中で、ごみの減量化に取り組んでいきます。</p> <p>このことから、現状の排出されているごみの組成分析を行い、減量化・資源化の促進を実施することとし、減量化については燃やせるごみの中に含まれる水分を減らすこと、資源化については燃やせるごみに含まれる紙類及び布類を資源として分別することを重点的に取り組むこととしました。</p> <p>ごみの減量化のための「生ごみの水切り」については、市民一人ひとりの御協力が不可欠であり、そのためにも、市ではこれまでの啓発から、より積極的に職員が地域の会合等に出向いて、ごみの減量化・資源化についての取組に御協力いただけるよう新たな啓発事業を実施していきます。</p> <p>御指摘の本市の目標とする「1人1日当たりのごみ排出量950g/人・日」が県内の他市状況と比較して目標値として不十分ではないかという点については、市によってごみ袋有料化の実施の有無など、それぞれごみ処理システムが異なることがある中で、本市に見合った数値を目標としており、決して低い目標値ではないと考えています。</p>